

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 相手とのつながりをつくる言葉の働きについて捉えることができている。
- 登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉える力が身に付いている。
- 互いの立場や意図を明確にしながらかし合い、自分の考えをまとめることに課題がある。

【算数】

- 二つの数の最小公倍数を求めるなど数や計算についての知識や技能が身に付いている。
- 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めるなど、データの活用についての知識や技能が身に付いている。
- 百分率で表された割合と基準量から比較量を求めたり、数量が変わっても割合が変わらないことを理解したりと、割合の問題に課題が見られる。

【理科】

- 実験で使用する器具を理解し、その正しい扱い方を身に付けている。
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して改善し、自分の考えをもつことができている。
- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことに課題が見られる。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 人の役に立つ人間になりたいと思う意識が高い。
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあるという児童が多い。
- スマートフォンでSNSや動画視聴をする時間が多く、学習時間が少ないことに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・単元を見通す「学びの地図」の活用と、一単位時間における「見通し・めあての設定・自力追究・交流・まとめ・ふり返し」が連動した授業の実施
- ・家庭学習計画表の活用と現在の学習内容・既習内容・自主学習をバランスよく取り入れた家庭学習の実施
- ・児童が学習内容を見通すことができ、教師が評価を確実に行うノートやプリントの工夫

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・教師と子どもとで共有した授業の推進（授業改善）
- ・話す・聞く・書く・読むなどの言語活動の充実

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・毎月のめあての設定とふり返りの実施
- ・全校での名人の取組（ノート名人、話し方マスター、校内漢字テスト等）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学習したことが生活のどのような場面で活用できるのか話し合う場を設ける。
- ・自分で考えをまとめたり整理したりする活動を徹底する。